

# たど いわさを辿る!

— 21 —

■掲載は旧14市町村の五十音順

## 旧勿来市(下) Ⅱ 観光・漁業編



市内随一の浴客でにぎわいを見せた勿来海水浴場  
＝昭和30年、小宅幸一さん提供

総体的には海、山、川あり  
の普通の街。観光・誘客  
の面では他に比べると「起爆  
剤」に乏しいのが勿来地区。  
とはいうものの、往時、勿  
来の関公園などは「県立勿来

## 起爆剤に乏しい地区 サイクロロードを国際施設に

自然公園」に指定され、また、  
勿来海水浴場や小浜海水浴場  
などは、誘客、集客に一役買  
い、地域経済を潤した。  
中でも、ドル箱、勿来海  
水浴場は、昭和四十(一九六  
五)年から平成初頭(一九八  
九)までの入り込み数は毎年  
百万人を数え、市内随一の人  
出を誇った。海の家も林立し  
たが、その後は年を追うごと  
激減。現在の人出は一万人程  
度。  
だが、海水浴場とは別に、  
これまでには歴史的に評価の



港で網の手入れをする漁業  
関係者＝小浜漁港

ある「勿来の関」の名の下、  
勿来まつり、四十数年前には  
勿来青年会議所による武者行  
列なども展開。当時、同会議  
所の理事長も務めた山下知  
昭さんは、「地域の活性化の  
一環として十年間ぐらいやっ  
た。実際の行列は四回ぐらい  
だったかな。でも、経済的な  
問題もあつてね」と、当時  
を振り返る。

### ファミレスもない

ところで、市は同地区の将  
来におけるランドデザイン  
について市民との勉強会を開  
いているが、明確なビジョン  
はまだない。地域の独自性な  
どを考え、次代を担う若者た  
ちを含め、総ぐるみのアイデ  
アも必要不可欠だろう。

勿来ひと・まち未来会議会  
長の関根匡さんは、「サイク  
リングロードを利用するもの  
も観光、経済の活性化につな  
がる。勿来を発着として宮城  
までロードを延ばす。国際的  
な施設にすれば、外国からの  
選手、客も訪れる。インター  
ナショナルの臨海ロードにな  
りますよ」と、一石二鳥への  
希望を語る。

# いわき市

1966（昭和41）年10月1日、5市4町5村が大同合併して誕生。64年3月に常磐・郡山地区が「新産業都市」に認定されるまで、各市町村が協議会を設立して活動したことが契機となった。面積は1,232km<sup>2</sup>で、市としては2003年まで国内最大、県内の約9%を占める。工業出荷額は例年、東北で1、2を争う。人口は令和7年8月1日現在、31万4,038人。1997年に中核市指定



勿来まつりでは、武者行列も行われ、にぎわいをみせたものだったが…＝平成4年、いわき市提供

## 合併前夜——旧勿来市

（出典・市資料などから）

一方、農・工業とともに地域市民の生活を支える漁業。この地区には東西に二つの漁

港があり、いわき市漁協小浜支所と旧勿来支所が存在。十四年前の東日本大震災後は、「海洋の放射能汚染」で出漁がかなわず長期間、船止めを強いられている。小浜支所では、本格操業への「助走」の意味合いから固式刺し網漁、あわび漁などを行っているが、漁業者らにとっては不満の日々が続く。小浜支所の漁業者は、「後継者不足に加え、週に数回の漁で水揚げをしているが、いつまで続くのか」と、苦り切っている。

市の南部、勿来地区は今、  
「岐路」にある。旧五市をみると、官公庁・商業の平、

東北の海の玄関・大型施設の小名浜、温泉街・レジャー施設の湯本、医療施設二基幹を持つ内郷。だが、勿来は？常磐自動車道、国道6号バイパスの南下延伸、そしてJR常磐線。これら「三大路線」が本格的に動けば、勿来は通過するだけの街と懸念する市民も少なくない。「老若男女が集まり、ゆっくり飲食できるファミレスがないのも勿来だけ」勿来地区には、こんな笑うに笑えない話もある。

（氷人）

■次号は旧久之浜町・大久村Ⅱ久之浜編

その後、化学工場や製紙工場が相次いで進出、操業を始めたものだ。

また、同地方全体の産業の活性化を図るため、同三十七年には地域の中央を流れる鮫川の上流と田人村との境に高柴ダムを建設。

完成後は、電力をはじめ、工業用水、治水、灌漑用水など、さまざまな分野で現在も利用されている。

## 工場進出が相次ぐ

熱力ローリーの低い炭を有効活用するため、火力発電所が建設され、同三十二年から発電を開始。

植田、錦、窪田の三町を中心に、勿来市が生まれたのは、昭和三十（一九五五）年四月。人口はざっと四万六千人。議論を経て、新庁舎は錦町に設けられ、主とした商圏は植田地区が担った。終戦から十年が過ぎ、三十年



2024年3月～  
マルト各店で販売開始!

食の安全・安心。さらに、おいしい

シーフードケーキ

お弁当の彩りにも

創作かまぼこ

かねまん

https://www.kaneman.net/  
0120-17-3360

■電話・FAX・インターネットでも注文承ります。  
■本店営業時間AM8:00～PM4:00(年中無休)

■本店  
福島県いわき市平下高久字下原83  
TEL.0246-39-3360・FAX.39-3754

■いわき・ら・ミュウ店  
福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1  
TEL&FAX.0246-53-7125

皆様の幸運を招く  
恵比寿様 大黒様



■オンラインショップ  
www.kaneman.net  
インターネットでのご注文はこちら▶

